

電気・工水事業の施設の概要

電気事業

水力発電	永瀬 22,800kW	風力発電	大豊 1,200kW
	吉野 4,900kW		甫喜ヶ峰 1,500kW
	杉田 11,500kW		

工業用水道事業

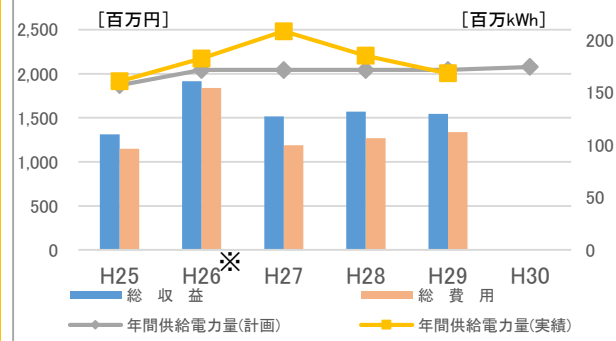
鏡川工業用水道	給水能力55,800m ³ /日 (契約水量 25,423 m ³ /日)
香南工業用水道	給水能力 8,000m ³ /日 (契約水量 936m ³ /日)

第3次中期経営計画期間(H26~30)の経営状況

電気事業

○年間供給電力量は、気象状況等により変動があるものの、計画を若干上回った。
○純利益は、主力の水力発電が電力受給契約により安定して利益を確保したため、計画を上回った。

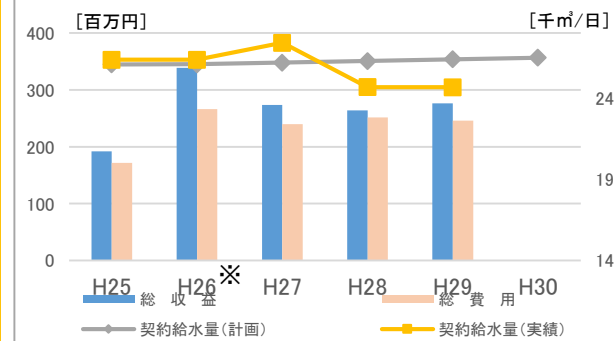
年間供給電力量(計画・実績)と収益的収支(実績)の推移



工業用水道事業

○契約給水量は、鏡川工水の契約者数の減少により、計画を若干下回った。
○純利益は、鏡川工水の水管橋の耐震化の先送りなどの費用減もあり、計画を若干上回った。

契約給水量(計画・実績)と収益的収支(実績)の推移



公営企業を取り巻く環境の変化

- 電力システム改革の進展 (電気)
 - ✓売電方法の多様化と水力発電の基本契約の満了
 - ✓再エネの推進とFIT制度の動向
- 産業構造の変化による水需要の低迷 (工水)
 - ✓新規立地企業の進出など、今後の水需要の動向
- 耐震・老朽化対策 (電気・工水)
 - ✓南海トラフ地震対策と将来を見据えた更新計画
- 豪雨災害等への対応 (電気・工水)
 - ✓頻発する豪雨災害への備え
- 広域化や民間との連携 (電気・工水)
 - ✓[電気]民間事業者との共同事業や連携
 - ✓[工水]香南市工水事業との統合

経営理念

地方公営企業としての経済性を発揮し、地球環境にやさしいクリーンな電力と低廉で良質な工業用水の安定供給に努めるとともに、時代の要請や県民の皆様の期待に応え、産業振興や地域振興に貢献

基本方針

- I 県民の期待に応え県政の課題に柔軟に対応
 - ✓電力の安定供給と低廉で良質な工業用水の安定供給を通じた産業や地域の振興への貢献
 - ✓電気事業から得られる利益を活用して、再生可能エネルギーの導入促進や、流域環境の整備や森林整備への支援
- II 経済的に自立した持続可能な経営の確立
 - ✓収益の確保と、経営の安定化に向けた効率的・効果的な事業運営
 - ✓将来を見通した計画的な設備投資と、そのために必要な資金の確保
 - ✓電気事業会計から工水事業会計への長期貸付など資金の有効活用
- III 危機管理体制の強化
 - ✓耐震化の推進・震災訓練・関係機関との連携強化により災害に強い体制の確立
 - ✓労働安全衛生の推進
- IV 事業運営の基礎となる組織力の向上
 - ✓技術承継や人材育成の推進

計画期間

平成31年度から平成40年度まで (10年間)

経営指標の目標値

指標	電気事業		工業用水道事業	
	現状	数値目標	現状	数値目標
経常収支比率	126.3% (H27-29平均)	125%以上 (毎年度※1)	110% (H27-29平均)	115%以上 (毎年度)
年間供給電力量(水力)	170百万kWh (過去30年平均)	175百万kWh (10年後)	鏡川45.6% 香南11.7%※3	50%以上 (10年後)
地域貢献※2	25百万円/年 (H27-29平均)	5億円以上 (10年間)	19.7%※3	25%以上 (10年後)

※1 水車発電機オーバーホール等大規模修繕工事実施年度を除く
※2 再生可能エネルギー導入支援含む
※3 H30.4月現在

電気事業の経営戦略

課題

- 電力システム改革等への柔軟な対応
非化石価値市場やFIT制度の動向、売電形態の多様化など環境変化への柔軟な対応
- 施設の老朽化対策
老朽化が進む水力発電施設について、今後の環境の変化や経営状況等も踏まえた計画的な更新
- 災害に強い体制の整備
南海トラフ地震や頻発する豪雨災害への対応
- 再生可能エネルギーの推進と地域還元
再生可能エネルギーの導入促進と、環境整備などの地域貢献が期待されている

具体的な取り組み

- 事業収支の向上に繋がる設備投資の検討
- 水力発電の売電方法の検討
- 老朽化施設の計画的な修繕・改良
- 豪雨災害や南海トラフ地震に対する管理体制等の強化
- 被災事例等を踏まえた施設の強靱化
- 再生可能エネルギーの導入支援
- 環境整備など地域貢献事業の推進

水力発電所のリニューアル等

工業用水道事業の経営戦略

課題

- 工業用水の需要低迷への対応
給水量の増加の取り組みと経営の効率化
- 施設の耐震・老朽化への対応
安定給水の継続に向けた耐震化及び施設の更新、そのための財源の確保

具体的な取り組み

- 給水先(給水量)の拡大
- 更なる事業の効率化
- 老朽化施設の計画的な修繕・改良
- 地震対策の充実強化(訓練の充実等)

市工水と統合し県が給水(香南)

管路更新時のダウンサイジングの検討(鏡川)

管路の更新(鏡川)

(10年間)

投資計画

財政計画

共通事項

課題

- 組織体制の強化と人材育成
頻発する豪雨災害や経営環境の変化に対応するための若手職員の育成や技術の承継
- 経営の効率化
電力システム改革の進展や工業用水の需要動向を踏まえた事業経営の効率化

具体的な取り組み

- 若手職員の教育の充実と能力向上の支援
- 震災対応訓練の充実
- 発注の工夫等による経費削減
- 民間活用による効率化等の検討
- 新技術の活用による効率化の検討

推進体制

- PDCAサイクルによる進捗管理、見直しの実施(5年後全面改訂)
- 取り組み状況と評価及び決算状況の公表

※H26年度に収益費用ともに増加している要因は、新会計基準の適用に伴うもの。